

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●C.ルメール騎手がJRA通算700勝を達成

11月4日(土)の5回東京1日・第4レースではアイスフィヨルドが1着となり、同馬に騎乗したクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)は、史上60人目、現役では28人目となるJRA通算700勝(3988戦目)を達成しました。外国人騎手のJRA通算700勝は、今年7月29日に達成したミルコ・デムーロ騎手に次いで史上2人目のこととなります。

●重賞ウイナー3頭の競走馬登録抹消

2016年UAEダービー(G2)の勝ち馬で、2016年には日本馬として初めて米クラシック三冠すべてに出走したラニ(牡4歳／栗東・松永幹夫厩舎)は、10月26日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績11戦2勝・海外6戦1勝で、今後は北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となる予定です。2016年京都ジャンプS(J・GⅢ)の勝ち馬ドリームセーリング(牡10歳／美浦・田島俊明厩舎)は、11月2日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は55戦7勝で、今後は乗馬となる予定ですが行先は未定です。2015年・2016年のJBCレディスクラシック(JpnI)を連覇するなどしたホワイトフーガ(牡5歳／美浦・高木登厩舎)は、11月8日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績8戦3勝・地方15戦7勝で、今後は北海道浦河町の梅田牧場で繁殖馬となる予定です。

●スウェプトオーヴァーボードが死亡

11月1日(水)、種牡馬スウェプトオーヴァーボード(牡20歳)が繫養先である北海道日高町のブリーダーズスタリオンステーションで病気のため死亡しました。1999年にアメリカでデビューした同馬は、メトロポリタンH(米G1)を制するなど20戦8勝の成績を残して引退。2003年から日本で種牡馬生活を開始し、2016年・2017年のスプリнтерーズS(G1)を連覇したレッドファルクスなどを出しています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●JBCはサウンドトゥルー、ニシケンモノノフ、ララベルが優勝

JBCクラシック(JpnI、11月3日、大井、2000m)は、10番手から追い上げた4番人気のサウンドトゥルー(大野拓弥騎手、駆7歳、父フレンチデピュティ)がゴール前で3番人気のケイティプレイブを捉えて1馬身差を付け、3度目のG1・JpnI制覇。ミツバが3着と健闘し、1番人気の昨年の覇者アウォーディーは4着、グレンツェントは5着、逃げたオールブラッシュは6着、2番人気のアポロケンタッキーは見せ場なく8着に敗れました。

JBCスプリント(JpnI、11月3日、大井、1200m)は、3番手から内を突いて伸びた2番人気のニシケンモノノフ(横山典弘騎手、牡6歳、父メイショウウボーラー)がゴール寸前で差し切りました。ダッシュが付かず後方からの競馬を強いられた1番人気のコパノリッキーは、3コーナー手前から一気に追い上げて先団に取り付き、一旦は先頭に立ったもののアタマ差2着に惜敗。ネロは4着、逃げたコーリンベリーは6着、スノードラゴンは7着、ドリームバレンチノは9着、ノボバカラは12着に終わっています。

JBCレディスクラシック(JpnI、11月3日、大井、1800m)は、3番手を進んだ5番人気の大井のララベル(真島大輔騎手、牡5歳、父ゴールドアリュール)が直線の競り合いを制してダートグレード競走初制覇。逃げたプリンシアコメータは、直線で勝ち馬に寄られて進路が狭くなる不利がありながらアタマ差の2着に踏ん張り、3番人気のワンミリオンズは4着、2番人気のアンジュデジールは5着、タガノヴェローナは6着、単勝1.8倍で断然人気の前2年の優勝馬ホワイトフーガは11着、キンショーユキヒメは12着でした。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ブリーダーズC～ガンランナーがクラシックを制覇

アメリカ競馬の祭典ブリーダーズC開催が11月3日、4日の2日間にわたって西海岸カリフォルニア州のデルマー競馬場で行われました。全部で13のG1レースが組まれたこの開催のメイン競走にあたるG1ブリーダーズCクラシック(4日、ダート10f)に優勝したのはガンランナー(牡4歳、父キャンディライド)。好スタートを切って先頭に立つと、馬体を併せるようにして2番手を追走したG1パシフィッククラシックの勝ち馬コレクテッドを直線で競り落として、最後は2馬身1/4差をつけました。なお、連覇を狙ったアロゲートは後方から伸び切れず5着に終わっています。勝ったガンランナーはこれで6月のG1スティーヴンフォスターH、8月のG1ハイットニーS、9月のG1ウッドワードS(以上、すべてダート9f)に続くG1・4連勝。今年は6戦5勝で、唯一の敗戦はアロゲートの2着だった3月のG1ドバイワールドCです。勝利騎手はF.ジェラーでこのレース初制覇。同調教師のS.アスマッセンは2007年のカーリン以来となる2勝目となりました。